

【参考資料4】

# 社会への扉

高校生(若年者)向け消費者教育教材  
**—12のクイズで学ぶ自立した消費者—**  
(生徒用教材と教師用解説の2冊組)

**【目的】** 成年年齢の引下げが議論されていることも踏まえ、高等学校段階までに、契約に関する基本的な考え方や契約に伴う責任を理解するとともに、身近な契約等を通じて、社会において消費者として主体的に判断し責任を持って行動できるような能力を育む。

生徒用教材

P.1~2  
導入

消費者が主役の社会へ

消費生活に関する12のクイズを掲載

高校生が普段暮らす街の風景を配して、契約や消費者トラブル等が身近な暮らしの中に存在することに気付かせる。

P.3~11

契約について理解しよう！

グループ学習にも活用できるワークを掲載

ワーク3 なぜ、法律では上のような取引に関してクーリング・オフ制度を定めているのだろうか。

高校生にも身近なインターネットショッピングの注意事項を具体的に掲載

お金について理解しよう！

「給料＝好きなように使えるお金」ではないことや、クレジットカードの仕組み、多重債務、将来の詐欺的投資被害を防ぐための注意について掲載。

暮らしの安全について理解しよう！

暮らしに潜む危険の例を紹介。安全に配慮した行動、再発防止のための行動がとれる消費者になることを促す。

消費生活センターについて知ろう！

消費生活センターの案内に加え、相談した後の解決までの流れについて、「高校生が消費生活センターに相談したら」という設定のマンガで紹介。

あなたの行動が社会を変える！

消費者トラブルにあった際に行動することが、消費者市民社会の実現につながるということについて、フローチャートを使って紹介。

教師用解説書

生徒用教材に関わる学習指導要領の項目等を示す表

項目	学習指導要領	対応ページ
消費者教育の重要性	消費者教育の重要性	1～2
契約の重要性	契約の重要性	3～11
消費者生活に関する知識	消費者生活に関する知識	12～19
消費者トラブルの防止	消費者トラブルの防止	20～27
消費者生活センターの活用	消費者生活センターの活用	28～35
消費者生活の実践	消費者生活の実践	36～43

消費者教育を実践している教師、弁護士、消費生活相談員から、消費者教育の必要性についてのメッセージ

育てよう！自立した消費者  
～今、高等学校に求められる消費者教育～

- 生徒用教材各ページの解説
- 教師として知っておきたい若年者を取り巻く消費生活に関する情報
- 生徒用教材の「ワーク」「発展」、「プラスα問題」の考え方

公民科、家庭科の指導案例とワークシート例(ワークシート実物大はウェブサイト掲載)